



池間幼稚園再園

4月8日(月)に池間幼稚園の入園式が行われました。松川まみさん・親泊るきとさん・山里ゆいとさん・久貝りのさん・宮城るきあさん・親泊るなさんの6名です。

この6名の入園希望により、2019の年度より三年間休園していた池間幼稚園が再園・島の宝復活です!!5名未満の幼稚園は現在の宮古島市教育委員会規定では休園せざる得ません。

子どもたちの未来は地域の未来です。これまで以上に、「ヤラシコー、マイフガ、ヤラインミン」「ワイティ、カナイヨー」っと、島の親子・若者を励まし合い希望をつなげ、誰もが安心して暮らしやすい島へ

そして幼稚園継続が永久に続きますように。再園した池間幼稚園は、池間小中学校校舎向かい「ユニムイ歴史ミュージアム」手作り資料館の場所、担任は根間玲香先生です。

園児たちは、幼稚園が終わると「だいたい」と元氣よく、きゅ〜ぬふから舎にやってくる。おじいおばあたちに挨拶してくれるようになりました。みんなのおうちにも少しずつ慣れ始めた子どもたちは元氣いっぱい、島内自然探索などしながら楽しく過ごしています。



発行者
NPO 法人いけま福祉支援センター
電話：75-2870

入園・入学おめでとう♪

池間中学校入学式

池間中学校には、奥平和真さん、砂川寛大さん、平良百合菜さん、久貝莉央さん、奥平妃咲さんの5名が入学しました。

幼小中計30名。

園児6名。小学2・3年生各1名、4年生2名、5年生5名、6年生2名。中学1年生5名、2年生4名、3年生4名です。



※資料館は水浜の公民館横・旧保健師駐在所に移転しました。

池間小中学校 創立115年

♪明治三十六年に〜

生まれいでたるわが校は〜

二十三年の星霜を〜

経たる床しき学び舎で〜

4月19日は、

学校創立記念日でした。

(池間行進曲3番)



学校又 ニヤード・ンギートウ
スマー・ンミヤ・オワリドー
スンドウスドー



高校生新入生歓迎演芸会

3月30・31日の二日間、池間高校生生徒会恒例の新入生歓迎演芸会。久々に帰島した還暦の方は「今でも続いているのにびっくりした〜」っと、90代のおじいさんは「自分たちの時からあったはずよ〜!？」っと、何回目なのか五・六十年はずっと続いている出会いと別れの年度の節目、老若男女シマのみんなで楽しめ伝統も最新もある素敵な会。4月から進学する2名の新一年生が加わり華やかな舞台でした。



「歌うことは健康で長生きの秘訣」

今年4月に入り、生き生き教室では本格的に歌の練習が始まりました。去年の夏に応援歌大会を行い、利用者の皆さんが大いに盛り上がり楽しみました。今回は応援歌、島の民謡、わらべ歌を後世に残そうと話し合い、練習に頑張っています。応援歌は利用者の皆さんが十代二十代の若かりし頃に歌い、東中西分団ごとに競い合い、おおいに運動会を盛り上げていたそうです。民謡は、「池間の主」「八十八の祝いの歌」「いけまタウガニ」等、わらべ歌は「アウマチャガマ」「まりつきのあーぐ」「アカンミフニュー」「タマビーヌアニガマ」等が歌われます。みんなで掛け声をかけたり手拍子をしたりと大いに楽しんでます。「ヤグミフカラス、ウムッスムヌド」

生き生き教室通信

横浜の中学生
今年も民泊

横浜サイエンスフロンティア高校附属中学 2年生80人が4月21日、池間島に入島し3泊4日民泊しました。引率団長の三藤副校長は、「島の文化や自然はもちろんのこと友達や民家さんとの暮らす中で‘自分とは違う’体験はこれからの時代の多様性を理解する上でとても貴重なもの」として、この研修旅行から学習や研究のみならず生活も積み重ねの基盤作りに池間島の民泊経験を大切にしていると語っておいしました。2017年に開校したばかりで昨年の一期生に引き続き二回目の池間島民泊受け入れ。来年も希望されています。来年の3期生の来島に、



民泊に来た学生さん達の其々成長が楽しみです。

カナードウーイドー

平成最後の製糖期

沖縄製糖宮古工場への搬入量見事67人中1番となったのは、仲間靖さん！池間地区の原料員の仲間清一郎さんの三男坊です。

1/17~90日間で宮古工場への約12万2025トンの搬入量の内、2千260トン搬入。兄の克年さんも2千163トン(4番)と、沖縄県内最大のサトウキビ生産地である宮古島で、池間民族カナイ兄弟大活躍です！！

今後の予定

- 4月27日(土) シマ学校ミソづくり
- 4月30日(火) ~ 5月4日(土)
宮古スペースバルーンコンテスト
- 5月1日(水) 即位の日

